

豊中市伊丹市クリーンランドの土壤汚染等概況調査の結果及び今後の対応

(調査期間：H25.7.26～H25.8.4、数値確定日：H25.9.12)

豊中市伊丹市クリーンランドでは、平成 30 年度を目標に施設の老朽化などに対応する施設整備を計画的に行うため、平成 18 年度、平成 24 年度に土壤調査を行っております。その際に敷地内から土壤汚染対策法の指定基準に適合しない土壤と地下水、また埋設廃棄物が確認されたため、これらについて、地元説明、報道発表、クリーンランドのホームページなどによりその結果について公開して参りました。

今回、既存ごみ焼却施設の解体及び跡地利用を検討するため現在稼働中の既存焼却施設敷地内の 17 ヶ所において土壤の汚染状況調査を実施したところ、前回と同様に敷地内から土壤汚染対策法の基準に適合しない土壤が確認されましたので、調査結果ならびに今後の対応について公表します。

1. 調査対象地（「別紙 1」及び「別紙 2」参照）

伊丹市岩屋 2 丁目 136 番外（伊丹市域）
豊中市原田西町 10 番の一部（豊中市域）

2. 調査結果の概要

- ①新たな汚染物質は確認されていません。
- ②汚染状況は過去 2 回の調査と比較して同等もしくはそれ以下です。
- ③地下水については基準値超過はありません。

3. 調査結果

土壤汚染対策法で定められている第一種特定有害物質全項目（揮発性有機化合物）、第二種特定有害物質全項目（重金属等）、第三種特定有害物質（農薬等）の 21 項目と大阪府生活環境の保全等に関する条例で定められたダイオキシン類について調査致しました。

その結果、土壤汚染対策法の基準に適合しなかったものは、次のとおりです。

(1) 土壤調査結果：土壤溶出量※

物質名	最大濃度	土壤溶出量基準値*	最大不適合倍率
六価クロム	0.07 mg/l	0.05 mg/l以下	1.4 倍
水銀及びその化合物	0.0009 mg/l	0.0005 mg/l以下	1.8 倍
鉛及びその化合物	0.089 mg/l	0.01 mg/l以下	8.9 倍
砒素及びその化合物	0.17 mg/l	0.01 mg/l以下	17 倍
ふっ素及びその化合物	4.0 mg/l	0.8 mg/l以下	5 倍

※土壤溶出量：土壤に水を加え十分振り混ぜた場合に溶出してくる量 ★基準値は土壤汚染対策法

(2) 土壌調査結果：土壌含有量

物質名	最大濃度	土壌含有量基準値★	最大不適合倍率
鉛及びその化合物	550 mg/kg	150 mg/kg以下	3.7 倍

★基準値は土壌汚染対策法

(3) 地下水調査結果

今回、地下水への汚染は確認されませんでした。

3. 人の健康への影響について

(1) 土壌

今回地下水への汚染が確認されなかったこと、被覆のない表層部分での含有量の基準値超過はなく飛散等による健康被害のおそれがないため、人の健康へのおそれはないと考えられます。

4. 汚染原因

クリーンランドでは、過去に土地の整地工事（盛土整備）やごみ焼却場の建設、また廃棄物を地中に埋設した経過があり、これらが汚染原因と考えられます。

5. 今後の取り組み

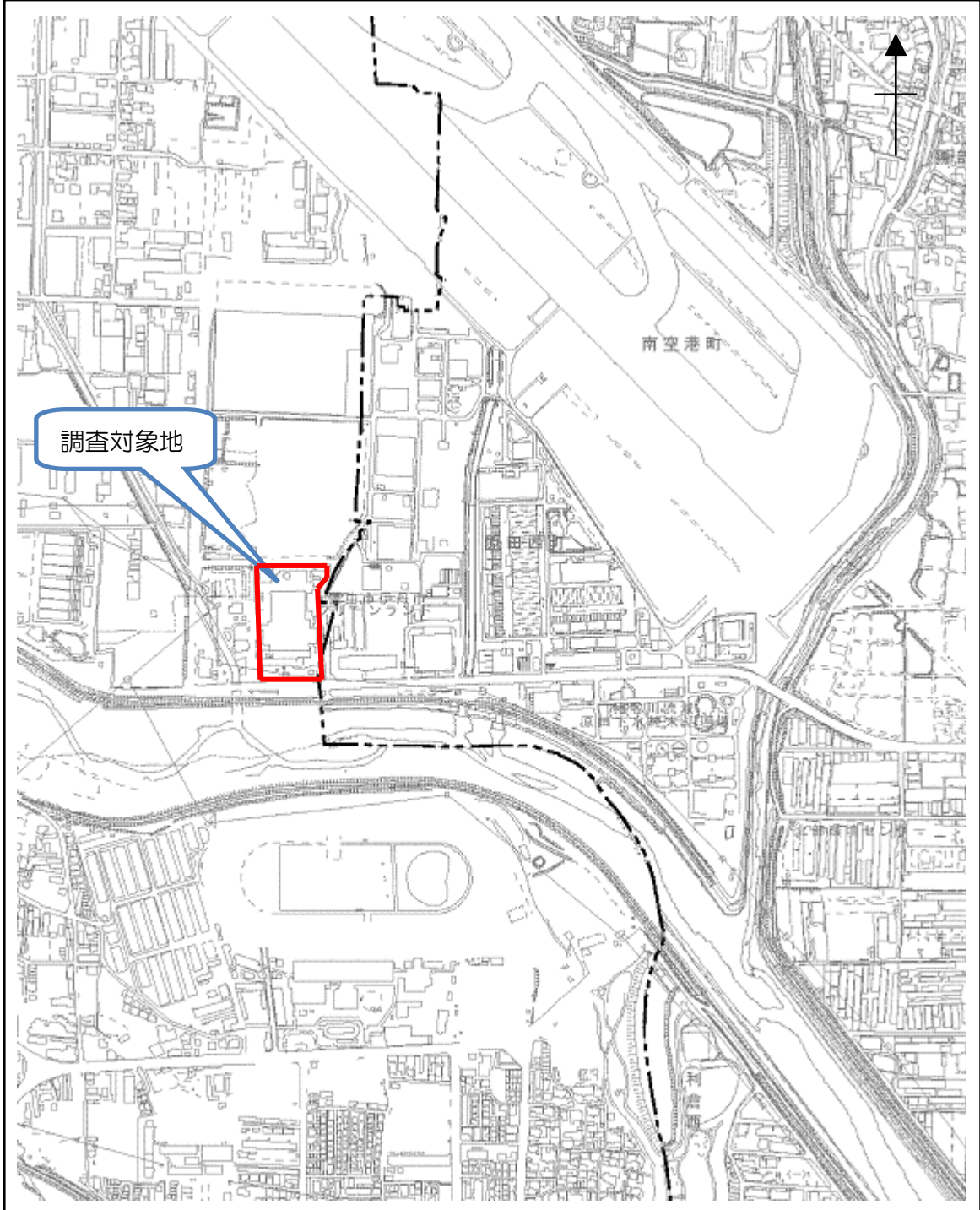
既存焼却施設の解体及び跡地整備の際には、今回得られた土壌汚染概況を参考に汚染対策について検討を行うとともに、新たに設置した観測井戸による定期的なモニタリングを行い、周辺への影響を確認してまいります。

6. 本件に係る照会先

豊中市伊丹市クリーンランド 保全操作室新炉建設チーム 津川・吉田
電話：06（6841）5794

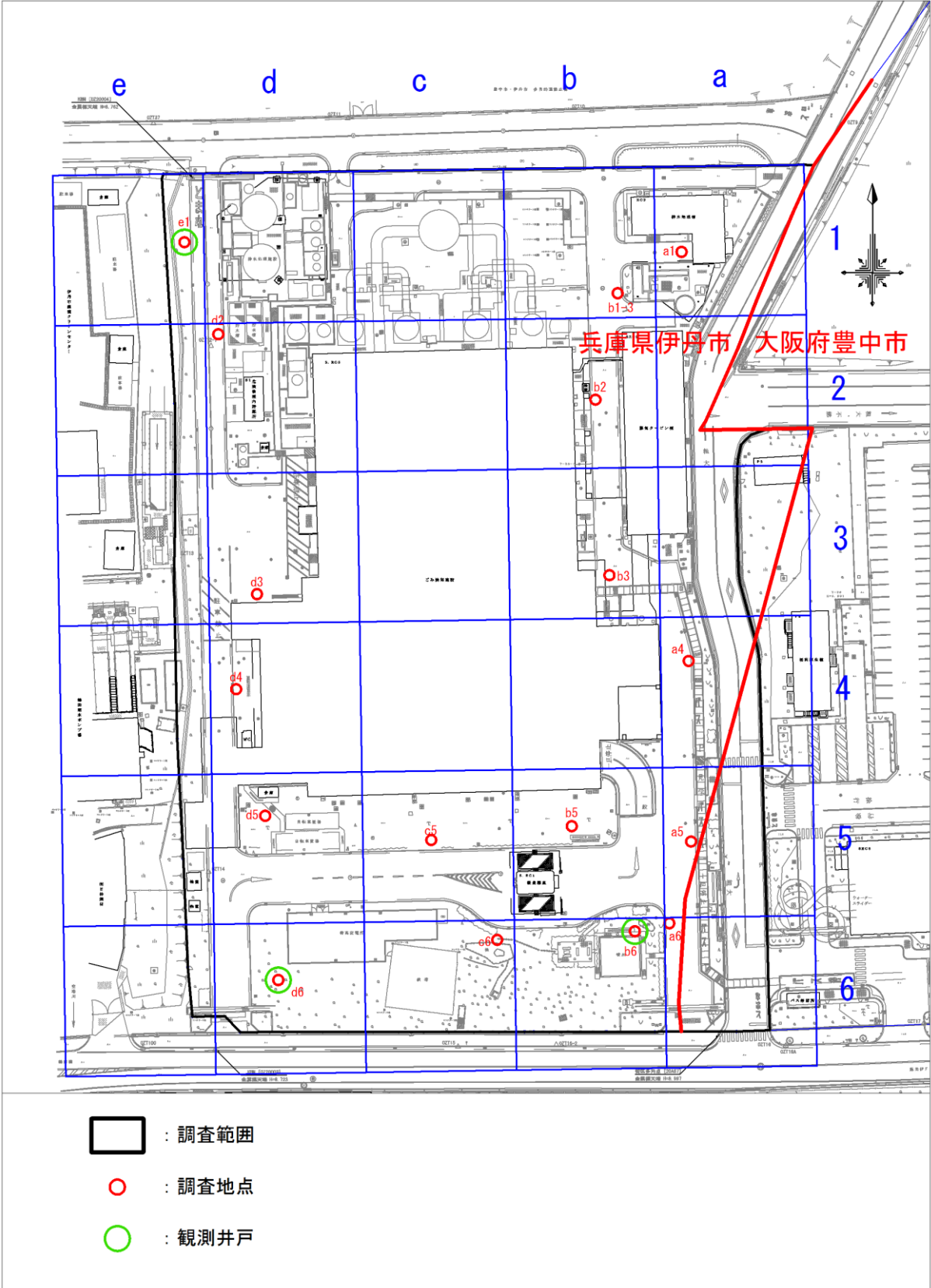
<参考資料>

- ① 平成 18 年度、平成 24 年度及び平成 25 年度の調査区域（「補足図 1」参照）
- ② 平成 18 年度、平成 24 年度及び平成 25 年度との調査結果の比較（「表 1」参照）
- ③ 調査項目一覧表（「表 2」参照）

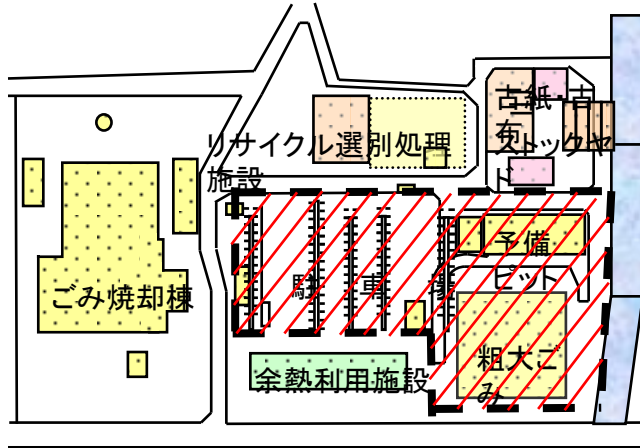


※豊中市発行 1//10,000 地形図より

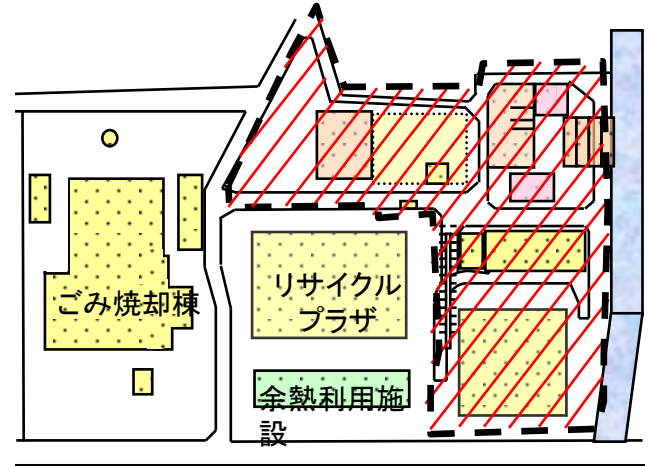
別紙 2



平成18年度調査区域



平成24年度調査区域



平成25年度調査区域

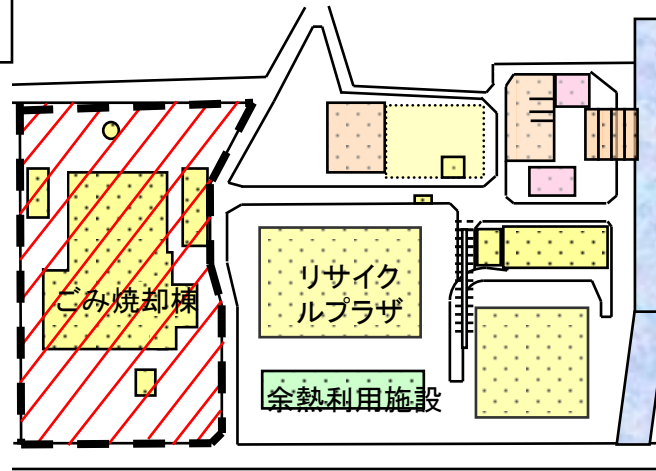


表 1

	項目	基準値 (単位)	分析結果						
			H25年度	最大倍率 (倍)	H24年度	最大倍率 (倍)	H18年度	最大倍率 (倍)	
9 土 壌	溶 出 量	鉛	0.01 (mg/l)	0.011~0.089	8.9	0.011~0.20	20	0.011~0.15	15
		砒素	0.01 (mg/l)	0.011~0.17	17	0.011~0.16	16	0.011~0.12	12
		ふっ素	0.8 (mg/l)	0.82~4.0	5	0.81~7.1	8.9	0.9~2.2	2.8
		ほう素	1 (mg/l)	0.05~0.42	0.42	1.2~1.8	1.8	0.1未満~0.8	0.8
		六価クロム	0.05 (mg/l)	0.07	1.4	0.01未満~0.05	1	0.06~0.23	4.6
		カドミウム	0.01 (mg/l)	0.001~0.009	0.9	0.011~0.10	10	0.001未満~0.002	0.2
		水銀	0.0005 (mg/l)	0.0009	1.8	0.0006~0.0017	3.4	0.0005未満	
		セレン	0.01 (mg/l)	0.002~0.009	0.9	0.012~0.018	1.8	0.003	
	含 有 量	鉛	150 (mg/kg)	200~550	3.7	160~1400	9.3	200~1600	11
		ダイオキシン	1000 (pg-TEQ/g)	0.22~750	0.75	0.0023~540	0.54	2800~22000	22
地 下 水	砒素	0.01 (mg/l)	0.001未満~0.001	0.1	0.011~0.062	6.2	0.019	1.9	
	ほう素	1 (mg/l)	0.05未満~0.12	0.12	0.1未満~1.0	1	1.1	1.1	
	ベンゼン	0.01 (mg/l)	未検出		0.04	4	未検出		

土壌溶出量：土壌に水を加え十分振り混ぜた場合に溶出してくる量

	土壌ガス調査	土壌調査調査項目	地下水調査項目
第一種 特定有害物質	四塩化炭素	—	—
	ジクロロメタン	—	—
	1,2-ジクロロエタン	—	—
	1,1-ジクロロエチレン	1,1-ジクロロエチレン(※2)	—
	シス-1,2-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン(※2)	—
	1,1,1-トリクロロエタン	—	—
	1,1,2-トリクロロエタン	—	—
	トリクロロエチレン	トリクロロエチレン(※2)	—
	テトラクロロエチレン	テトラクロロエチレン(※1)	—
	ベンゼン	ベンゼン(※1)	—
1,3-ジクロロプロペン	—	—	
第二種 特定有害物質	—	カドミウム	カドミウム
	—	六価クロム	六価クロム
	—	シアン	シアン
	—	水銀	水銀
	—	アルキル水銀(※3)	アルキル水銀
	—	セレン	セレン
	—	鉛	鉛
	—	ひ素	ひ素
	—	ふっ素	ふっ素
—	ほう素	ほう素	
第三種	—	PCB	PCB
その他	—	ダイオキシン類	ダイオキシン類
	—	—	pH(※4)
	—	—	電気伝導度(※4)
	—	—	塩素イオン(※4)

※1 土壌ガス調査において検出されたため土壌溶出試験を実施した。
 ※2 テトラクロロエチレンの分解生成物として土壌溶出試験を実施した。
 ※3 土壌溶出試験において水銀が検出されたため分析を実施した。
 ※4 基準値が定められている項目ではないが、地下水の性状を確認するために実施した。

7